

イザベル・カンピオン指導の“音楽家の為の運動療法”

## 講座 “音楽家の為の運動療法” の役割とは何か？

～フォーカル・ジストニアから演奏復帰した演奏家への指導を通して見えてくるもの～

日 時 : 2013年11月22日(金) 13時45分～15時15分  
会 場 : 渋谷区文化総合センター大和田 練習室3  
講 師 : イザベル・カンピオン  
モデル受講者 : 尾上昌弘 (クラリネット奏者)  
通 訳 : 福本しのぶ (ハープ奏者)  
参 加 費 : 4000円 (定員20名)



《写真提供:パイパース》

「“音楽家の為の運動療法”って、どんなことをやるの？」と興味をお持ちの方々に、その指導法と役割を知っていただくために、カンピオンの実際の指導を公開することに致します。「俎の上の鯉」となるのは、

フォーカル・ジストニアから演奏復帰を果たしたクラリネット奏者の尾上昌弘氏。

講座に参加されましたら、“音楽家の為の運動療法”は、トラブルの有る演奏家に有効なりハビリとなると同時に、トラブルの無い演奏家の演奏向上に繋がる合理的な方法であることを認識されることと思います。

講座構成は、50分間の指導と質疑応答。質問がお有りの方は、是非この機会にご質問を！

お申し込み : 2013年10月27日(日) 午前零時～10月31日(木) 正午

パソコン用フォーム URL <http://ws.formzu.net/fgen/S96222611/>

携帯電話用フォーム URL <http://ws.formzu.net/mfgen/S96222611/>

### 《イザベル・カンピオン (Isabelle CAMPION) プロフィール》

運動療法士、アマチュアチェリスト。楽器演奏時に苦痛を伴う多くの演奏家の治療に当たっている。

2000年より演奏家のパフォーマンスや健康に焦点を当て、運動医学を専攻、また芸術医学のディプロムを取得。2002年より「音楽家の為のクリニック」勤務。そこで演奏家の職業疾患とその予防、テクニックや音楽表現のための動作の最適化、“あがり”の克服の研究、指導をしている。また、フランス国内外での講演会、オーケストラ、音楽教育機関でのトレーナーとしての活躍など、音楽に関する活動に大きな情熱を注いでいる。日本では、2009年よりコンセール・パリ・トーキョウ企画の講座で講師を務め、2010年からは毎年1回、東京藝術大学に於ける特別講座の講師を務めている。

### 《尾上昌弘 プロフィール》

香川県出身。15歳よりクラリネットを始める。香川県立坂出高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部を経て、同大学大学院修士課程修了。クラリネットを高畑直美、山崎盾之、藤井一男、村井祐児、山本正治、三界秀実諸氏に師事。

また木管五重奏団 アンサンブル・ミクストのメンバーとしても活動している。同団体で2011年、第7回大阪国際室内楽コンクール管楽アンサンブル部門第3位(同部門における日本人団体の史上最高位)。

音楽家の疾患であるフォーカル・ジストニアが右手に発症したのが、2008年頃である。当初は演奏困難な状態にまで陥るが、演奏活動を続けながら治療に取り組み、現在は演奏復帰している。

主催 : コンセール・パリ・トーキョウ <http://paris-tokyo.cocolog-nifty.com/>